

# 宮田の環境を守る会通信

私たちは、宮田村大久保区に民間事業者が計画している、  
放射性物質を含む廃棄物最終処分場の建設に断固反対します！

Vol.20  
2019年2月15日

- **【活動報告】 9月6日学習会**（駒ヶ根の環境を守る会、大久保住民の会）  
**首都圏の焼却灰がなぜ伊那谷に？**  
～『ゴミは田舎へ』の構図を考える～ 講師 茅野 恒秀氏



大久保集落センターにおいて大久保住民の会が学習会を開催、守る会も協力。産業廃棄物、一般廃棄物の排出量、廃棄物の自区内処理の現状、一般廃棄物の広域移動、私たち地域の一般廃棄物の状況等今までの学習会とは違った観点からのお話に、40数名の参加者が耳を傾けました。

予定地で仮囲い設置が始まり、動きがある中で、自分たちの廃棄物の事を知り、違った形での反対運動を考えるよい機会になりました。



## 【活動報告】 10月13日 第3回宮田市マーケット in宮田宿

宮田村の中心市街地で開催された「第3回宮田市マーケットin宮田宿」に、『宮田の環境を守る会』と『放射能を含む廃棄物から子供たちと大久保の自然を守る住民の会』も参加しました。

津島神社境内でパネルの展示を行い、予定地の現状報告や広報活動を行いました。現状、仮囲いの建設が進んでいますので、現場の変化をイベント等への参加で伝えたいと思っており、運動は続いておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

発行：宮田の環境を守る会  
会長：田中 一男(村議会)  
miyadakankyo@gmail.com





## 【活動報告】10月23日 憲法9条を護る磐田市民の会視察

磐田市民の会の皆さん18名が、廃棄物最終処分場建設予定地の視察に見えました。当会からは田中会長・大久保区長ほかの5名が対応しました。

初めに大久保区集落センターにて問題の概要を説明し、そのあと意見交換をしました。

参加者からは、予定地が太田切川と天竜川のすぐそばに立地していることについて、「大洪水があれば大変なことになる」また「焼却灰はどこから来るのか」、

「わざわざ拡散させるのでなく、発生したところで処分するべきだ」などの意見がありました。

飲料水としても天竜川を利用しているとのことで、「下流域の住民としても反対運動に協力する」との言葉をいただきました。



## 【活動報告】11月10日 第10回ふれあいフリーマーケットでPR活動



宮田村ふれあい広場で開催された「ふれあいフリーマーケット」に大久保の住民の会として参加。

宮田村大久保地区で計画されている「放射性物質を含む廃棄物最終処分場」の建設に断固反対するための広報活動を行いました。

多くの方に署名への協力をいただきました。ご協力ありがとうございました。